

【堺町小学校 グランドデザイン】

「学校教育目標」

「自ら・共に拓く堺小の子」
 進んで考える子 思いやりのある子 心と体をきたえる子

平成30年度 重点教育目標（目指す子ども像）

自他の違いを認め、思いやりの心を持ち、人とやさしくかかわる

◇アンケート「だれにでも、自分から、相手に届く声であいさつをしている」100%

自ら考えを持ち、表現する力を身に付ける

◇アンケート「毎日の授業で、自分の考えを説明したり、友達と話し合っている」100%

命を大切に、健康でたくましい心と体をつくる

◇アンケート「命を守るために、どのように行動すればよいか分かる」100%

豊かな人間性

- お互いのよさや違いに気づき、認め、受け入れることができる寛容で豊かな心の育成
- 支持的風土に満ちた学年・学級づくり

健康・体力

- 体力の向上と健康の保持・増進及び安全に関する知識・理解や態度の育成
- 防災教育、安全教育の充実による自分の命を自分で守るための行動ができる子の育成

確かな学力

何ができるようになるか～育成を目指す資質・能力

- 主体的に学習に取り組み、互いのよさを生かして協働する
- 自ら課題を見つけ、新たな知識と既存の知識を組み合わせながら、解決に向け粘り強く取り組む
- 思いや考えを主体的に表現する

何が身に付いたか～学習評価を通じた学習指導の改善

- 仲間の考えを自分の考えと比べたり吟味したりして、自分の考えを再構成している
- 既習事項をどのように生かすかを考えたり、体験したことと学習内容を比べたり関連付けたりしている
- 思いや考えを、相手に伝わるように書いたり、説明したりしている

何を学ぶか～教育課程の編成の方向性

- 基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の育成
- 個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実
- 言語能力の育成
- 情報活用能力の育成
- 問題発見・解決能力の育成
- 主体的に学習に取り組む態度の育成
- 家庭における学習習慣の確立

どのように学ぶか～教育課程の実施方法

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ・課題意識の醸成、目的意識の明確化
 - ・解決を見通す、自分の考えをもつ
 - ・既習内容や経験と関連付けた思考の促進
- 言語能力の育成に向けて
 - ・考えを説明し合うなどの言語活動の充実
 - ・言語活動の視点の明示
 - ・相互作用のある活動の設定
- 主体的に学ぶ態度、学習意欲の向上に向けて
 - ・見通し、振り返りの活動を計画的に取り入れる

【堺小っ子の学びのよさ】

- ・指示の通り素直に頑張る
- ・意欲的に課題に取り組む
- ・仲間と協力して仲良く学ぶことができる

どのように支援するか

子どもと向き合う時間の確保
 学年・学級経営の充実
 情報共有、チームによる支援
 関係機関との連携

【堺小っ子の学びの課題】

- ・自ら課題を見いだすことに課題がみられる
- ・自分の考えを説明することに課題がみられる

実施するために何が必要か～指導体制の充実、家庭・地域との連携

- 「主体的・対話的で深い学び」に関する校内研修
- 子ども支援のための情報共有とチームによる支援に向けた指導体制の充実
- 地域連携推進教師による、地域との調整、情報の共有

実態把握 → 計画 → 実践 → 評価 → 改善